

事業概要：万博レガシーを継承した夢洲第2期区域のまちづくり

申請者	大阪府大阪市、大阪府					初回採択回	令和8年1月募集										
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	75,000千円 (75,000千円)										
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業												
目的・効果	・夢洲第2期区域において、大阪府・大阪市が中心となって整備を進める記念公園ゾーンのあり方を検討し、事業構想・基本計画素案を作成することにより、万博の理念を継承し、国際観光拠点形成を通じて「未来社会」を実現するまちづくりを推進する。 ・記念公園ゾーンの整備完了までの間も、万博レガシーの継承に向けた取組に関する情報発信を行い、大阪府への一定の来訪の創出や関心の維持向上・機運醸成を図りつつ、観光誘客の拡大や観光消費額の増加につなげ、将来的には人・モノ・投資の呼び込みによる地域経済の活性化を目指す。																
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 記念公園ゾーンにおいて、地方創生・産業振興に資する万博で披露された最先端技術やビジネス、文化、国際競争力を有する地元産業や企業の魅力発信に向け、スタートアップ等によるピッチイベントやビジネスセミナー、地場産業による技術・製品展示、発表イベント、多様な人材や分野が交わる交流機能などの空間やコンテンツを検討・立案し、広域的な交流と価値創出を生み出す「場」のあり方を整理する。また、記念公園ゾーンの事業構想・基本計画素案を情報発信するデジタル空間を「プレ情報発信ウェブサイト」として立ち上げ、継続的に情報発信を行う。					実施 体制	大阪府大阪市 大阪府 委託事業者 委託契約 負担金 関連するステークホルダー 経済界 行政 有識者 開発事業者 <table><tr><th>名称</th><th>役割</th></tr><tr><td>経済界</td><td>記念公園ゾーンの将来像や事業の方向性を提言、事業推進を支援</td></tr><tr><td>行政</td><td>関係機関の意見を踏まえ、記念公園ゾーンの事業構想・基本計画素案を策定</td></tr><tr><td>有識者</td><td>記念公園ゾーンのあり方等について、各専門分野の知見に基づき意見・助言</td></tr><tr><td>開発事業者</td><td>記念公園ゾーンと一体的な国際観光拠点の形成に向けた開発・事業運営に参画</td></tr></table>	名称	役割	経済界	記念公園ゾーンの将来像や事業の方向性を提言、事業推進を支援	行政	関係機関の意見を踏まえ、記念公園ゾーンの事業構想・基本計画素案を策定	有識者	記念公園ゾーンのあり方等について、各専門分野の知見に基づき意見・助言	開発事業者	記念公園ゾーンと一体的な国際観光拠点の形成に向けた開発・事業運営に参画
	名称	役割															
経済界	記念公園ゾーンの将来像や事業の方向性を提言、事業推進を支援																
行政	関係機関の意見を踏まえ、記念公園ゾーンの事業構想・基本計画素案を策定																
有識者	記念公園ゾーンのあり方等について、各専門分野の知見に基づき意見・助言																
開発事業者	記念公園ゾーンと一体的な国際観光拠点の形成に向けた開発・事業運営に参画																
【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・記念公園ゾーンの事業構想・基本計画素案作成経費（委託料）74,545千円 ・基本計画立案の検討会における有識者の謝金（報償費等）455千円																	
主なKPI	①大阪全体の観光消費額（来阪観光消費額）（+22,155億円 ※R13年度までに） ②プレ情報発信ウェブサイトの訪問者数（+1,000人） ③夢洲の地価上昇（+15千円/m ² ）																

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値